

GEITAN NEWS!

第54回入学式 第36回専攻科入学式を執り行いました

4月3日(第54回入学式・第36回専攻科入学式)を執り行いました。今年度は、美術科82名、音楽科63名、国際総合学科128名、情報コミュニケーション学科118名の計391名、また専攻科は造形専攻31名、音楽専攻23名、計54名が本学に入学しました。式は、昨年夏にオープンした「ホールトホール大分」で行われ、入学式同様、新しい空間での入学式に、教職員も新たな気持ちでのスタートとなりました。



新入生オリエンテーションを実施しました

入学式の翌日より、3日間の新入生オリエンテーションを実施しました。本学の教育目的や学生生活についての心構え、共通教育科目の履修方法、防犯講話、サークル紹介をはじめ、各学科ごとにさまざまな活動を行いました。教務学生部長 吉山教授の「今日からみなさんは生徒から学生となりました。学生は、自ら学ぶ姿勢が大切です。自分の可能性を大切に、希望を持って努力してください。そして、大人であるということを実感して行動してください」とのエールに、新入生たちも改めて身が引き締まったようでした。



大分駅前地下道にアート作品を展示しました

美術科メディアデザインコースの学生が、大分駅前の地下道を「アート空間」へと変身させました。これは、大分市観光協会から「公共空間を活用し、アートによるまちづくりを推進したい」との依頼を受けて実現したものです。ガラス張りの広告スペースだった場所に、同コース2年上野莉子さんがオリジナルで考案した「ナフグリフ」という象形文字を使って聖徳太子の「十七条の憲法」を訳した作品を展示しています。不思議な地下道アートを、ぜひご覧ください。



「第6回日韓次世代映画祭」を開催しました

3月28日から3日間の「第6回別府日韓次世代映画祭」を別府市中央公民館で開催しました。この映画祭は、本学の教員、学生らが中心となって運営してきた国際的な映画祭です。今回は、人気俳優のチョ・ジョンソクさんら豪華ゲストを招き、韓国映画「観相」「ソウォン(願い)」を先行上映。さらにドイツ映画「北朝鮮強制収容所に生まれて」を九州初上映するなど、収獲の多い映画祭になりました。



「TSG竹田総合学院」の開校式典に出席しました

4月17日、竹田市に開校した「TSG竹田総合学院」の開校式典が行われ、本学 中山欽吾学長と美術科 原田裕明教授が出席しました。この施設は、旧竹田中学校舎を活用し、工場の提供や作家の起業支援を行うことにより、伝統産業の復興及び文化・芸術振興に役立てることを目的としており、芸術鑑賞をはじめ、モノづくりが体験できるワークショップスペースなども設けられています。原田教授の彫刻作品と、本学学生らの常設展示スペースもありましたので、ぜひ足をお運びください。



海外語学実習でボランティア活動を体験しています!



カリフォルニア大学ディビス校で行われる海外語学実習では、サービスマーケティングとして「海外ボランティア実習」を実施しています。生活弱者支援施設での食事作りや配膳をはじめ、老人ホームで日本の歌を歌ったり、英語で自己紹介や患者さんと話をしたり、折り紙を教えるなどをしながら交流を深めています。ボランティア活動は短い時間ですが、最後に別れる時はお互いに涙がでるくらい仲良くなり、学生たちは大きく成長しています。

大分県立美術館館長による特別講義を行いました



来年春に開館する大分県立美術館館長 新見隆氏による特別講義を行いました。美術科の学生を対象とした講義では、芸術家を目指す学生たちに対しての心構えや美術館に入館する際の視点と必要など、開館する美術館についての構想などを語りました。来年春の県立美術館の開館が、大いなる期待と共に、待ち遠しい思いにさせる新見館長の講義でした。

佐伯市で「カフェレストラン」を開業しました!



佐伯市出身の学生たちが「佐伯春まつり」に合わせて2日間限定の「学生カフェレストラン」を開業しました。本学情報コミュニケーション学科の安部佑哉さんが代表を務める学生団体「好きっちゃSaiKiプロジェクト」の主催で、佐伯産品をPRしようとして、若鳥の塩焼焼きやサラタなど地元産の素材を使った弁当を販売。西崎泰義 佐伯市長も来店するなど、大いに注目されました。



フリーペーパーで 中山学長が執筆を担当しています

大分交通発行のフリーペーパー「Discover Oita」の「コーナー」Aria大分音楽幻想で、中山学長が執筆を担当。誌面では学長が描いたスケッチも掲載されています。「Discover Oita」は、エアライナーや大分交通が運行する高速バスのシートポケットに掲載されている季刊誌です。1月・4月・7月・10月の毎月20日に発行されていますので、見かけましたらぜひ、手にとってご覧ください。

情報誌「創造おいた」で サービスマーケティングが紹介されました

公益財団法人大分県産業創造機構が発行する情報誌「創造おいた」の158号(6月1日発行)で、情報コミュニケーション学科 吉良伸一教授が担当する「サービスマーケティング」が紹介されました。「研究室・研究グループ」を紹介するページで、サービスマーケティングについての意図や活動内容などが詳しく掲載されています。



吹奏楽コンクール課題曲指揮法講座を実施しました

5月20日 本学小ホールにて「吹奏楽コンクール課題曲指揮法講座」を実施しました。これは、吹奏楽コンクールの課題曲を題材に受講者が指揮を行い、森口准教授より指導を受けるというもので、今回は中学校・高校で現在、吹奏楽の顧問をされている3名の先生が受講しました。まずは一人ずつ課題曲を演奏し、その後森口准教授より要所を押さえて指導がありました。また、松倉教授と清水教授からは、演奏者の立場としての話もあり、さまざまな角度から指揮の大切さを指導しました。講座は公開で行い、30名を超える聴講者の方々に御座りました。

